

Elastic Compute Service (ECS)

購入ガイド

購入ガイド

公式 Web サイトでの購入

2つのチャネルからECSインスタンスを購入または作成することができます。

公式ウェブサイトを使用する

購入ページにログインします。

下記何れかの課金方法を選択します。

- サブスクリプション
- 従量課金

インスタンスリージョン、ゾーン、構成モデル（CPU /メモリー）、帯域幅、イメージ、およびディスクを設定します。

[今すぐ購入] または [カートに追加] をクリックします。

内容を確認し、[注文を確定する]をクリックして購入を完了します。

API による購入

Open APIは現在、従量課金のECSインスタンスの購入のみをサポートしています。 APIドキュメントについてはAPI Referenceを参照してください。

サブスクリプション

サブスクリプション請求方法は、支払いが行われた後にリソースを使用できる前払いの一種です。

該当リソース

現在、サブスクリプション課金方法は、以下の ECS リソースに適用されます。

- CPU構成とメモリ容量を含むECSインスタンス
- イメージ
- システムディスクおよび/またはデータディスク

サブスクリプション請求方法の ECS インスタンスを作成する場合、インスタンス作成ページの下部に表示される **インスタンスコスト** は、前の3つのリソースの合計料金です。

支払い方法

次のいずれかの方法を使用して、サブスクリプションモードでリソースの支払いを行うことができます。

アカウントにバインドされたクレジットカードです。[アカウント管理](#)> [アカウントの設定](#)から、クレジットカードをアカウントにバインドすることができます。

お客様のアカウントでサブスクリプション商品のお支払いに使用できるクーポンです。

ECSコンソールにログインして、[請求管理](#)> [クーポン管理](#)にアクセスして、クーポンの適用シナリオを表示し、クーポンがプリペイド商品に適用可能かどうかを判断することができます。

決済サイクル

サブスクリプションモードのリソースは毎月請求されます。請求サイクルは GMT+8 タイムゾーンに基づいて計算され、リソースのアクティブ化時間から始まり、1 ヶ月または 1 年後の 2 日目の 00:00:00 に終了します。

例：2017 年 3 月 12 日 13:23:56 の月額サブスクリプションモードで ECS インスタンスをアクティブにすると、インスタンスの最初の請求サイクルは 2017 年 4 月 13 日 00:00:00 に終了します。

課金単位は、さまざまなリソースによって異なります。次の表は、さまざまなリソースの請求単位を示しています。

リソース	課金単位
ECSインスタンス	円 / 月

イメージ	円 / 月
システムディスク	円 / 40 GB / 月
データディスク	円 / GB / 月

リソースを引き続き使用するには、決済サイクルの終了時にECSインスタンスを更新することができます。更新手順については、[手動更新](#)または[自動更新](#)を参照してください。

インスタンスが更新されていない場合、または指定された期間内に更新が失敗した場合、リソースの通常の使用が影響を受ける可能性があります。次の表に、請求サイクルの終了時のさまざまなリソースの使用状況を示します。

期間	ECSインスタンスとイメージ	システムディスク	データディスク
有効期限の15日以内	通常実行*	通常実行*	通常実行*
有効期限の15日後	15日目から16日目までの間にサービス停止 ** およびイメージが無効になります	サービス停止 ** ただし、データは保持されます	サービス停止 ** ただし、データは保持されます
有効期限の30日後	自動リリース	インスタンスと共にリリース	デフォルトでインスタンスと共にリリース

* **通常実行**されている状態とは、コンソールまたは他のリモート接続方法で**管理端末**を使用してインスタンスを正しく開始および停止し、インスタンスに接続できることを意味します。

** **サービス停止**は、期限切れの支払いや更新の遅延のために ECS インスタンスが自動的に中断されたことを意味します。

ECS の課金方法

このドキュメントでは、ECS インスタンスの価格、課金方法、および支払い方法について説明します。

価格

ECS インスタンスの価格は、以下の要素によって変わります。

- メモリ容量および CPU コアの数を含むインスタンスタイプ。
- リージョン: 同じインスタンスタイプの価格は、リージョンによって異なります。
- イメージ: 同じリージョンの同じインスタンスタイプでも、Windows イメージの価格は Linux または UNIX イメージよりも高価です。これは、Microsoft が Windows イメージに対して追加のライセンス費用を課金しているためです。

価格の詳細については、「ECS の価格」を参照してください。

課金方法

現在、ECS インスタンスでは 2 つの課金方法を利用できます。

サブスクリプション: 支払い後にのみインスタンスを使用できる前払いタイプです。インスタンスの使用量は月次で課金され、課金単位は日本円/月です。サブスクリプションは、Web サービスなどの 24 時間 365 日の固定サービスに適しています。詳細はサブスクリプションを参照してください。

従量課金: インスタンスの使用後に支払いを行う後払いタイプです。インスタンスの使用量は分単位で課金され、課金単位は日本円/時間です。ECS インスタンスのライフサイクルの最低料金 (作成からリリースまで) は 1 円です。従量課金は、一時的なスケーリング、臨時試験、科学的な計算など、突然のトラフィックの急増が発生するシナリオに適しています。詳細は従量課金を参照してください。

ECS インスタンスの機能と支払い方法は、課金方法によって異なります。

機能

ECS インスタンスの機能は課金方法によって異なります。サブスクリプション方法と従量課金方法の違いを次の表に示します。

機能	サブスクリプション	従量課金
更新	サポート対象 ECS インスタンスを手動で更新するか、自動更新を有効にできます。	サポート対象外
リリース	サポート対象外 期限切れ後に手動で更新されない場合、インスタンスは自動的にリリースされます。	サポート対象 不要になったインスタンスは、可能な限り速やかにリリースしてください。そうしない場合、インスタンスは停止後もリリースされるまで課金され、支払いの遅延により自動的にリリースされます。
中国本土リージョンの ICP 申告	サポート対象	サポート対象外
API を使用したインスタンスの作成	サポート対象外	サポート対象

支払い方法

ECS インスタンスの支払い方法は、課金方法によって異なります。

現時点では、インスタンスのお支払いにはクレジットカード、またはクーポンをお使いいただけます。ECS インスタンスを購入する前に、アカウントにクレジットカードを追加する必要があります。

この手順の詳細については、『[アカウント管理](#)』ドキュメントの「[アカウントの設定](#)」を参照してください。

サブスクリプション課金方式では前払いが必要です。クレジットカードまたはクーポンでのお支払いが可能です。課金ルールの詳細については、「[サブスクリプション](#)」を参照してください。

サブスクリプション課金方法の各 ECS インスタンスの課金記録を表示するには、ECS コンソールにログインし、[\[支払方法管理\]](#)、[\[料金詳細\]](#)、[\[サブスクリプションご利用分\]](#) の順に移動します。

従量課金課金方法では、最初にインスタンスを使用し、後払いを利用できます。クレジットカードまたはクーポンでのお支払いが可能です。課金ルールの詳細については、「[従量課金](#)」を参照してください。

従量課金方法の各 ECS インスタンスの課金記録を表示するには、ECS コンソールにログインし、[\[支払方法管理\]](#)、[\[料金詳細\]](#)、[\[従量課金ご利用分\]](#) の順に移動します。

ECS の更新方法

ECS 有効期限の手動更新

ECS 有効期限の手動更新（再購入）

年単位または月単位のサブスクリプションで課金されるECSインスタンスのみ更新が必要となります。また有効期限日以降経過期間に応じてインスタンスの稼動ステータス、更新方法が異なります。詳細は以下のとおりです。

- 期限が切れてから15日以内は、インスタンスは正常に動作します。この期間は自動及び手動でインスタン

スを更新できます。

例えば、2016年4月25日00:00:00にインスタンスの有効期限が切れたが2016年5月9日に更新が成功した場合において、この更新に対する課金サイクルは2016年4月25日00:00:00から2016年5月25日00:00:00までとなります。

● 期限が切れてから15日以降、インスタンスは強制的に停止状態になります。更新するまでインスタンスにログインできません。この期間は手動更新のみ可能です。

例えば、2016年5月10日00:00:00にインスタンスがシャットダウンされたが2016年5月23日08:09:35に更新が成功した場合において、この更新に対する課金サイクルは2016年5月23日08:09:35から2016年6月24日00:00:00となります。

※期限が切れてから15日以降、インスタンスを任意、もしくは更新の失敗により未更新のままの場合、停止から15日後にインスタンスがリリース（削除）されます。削除後はインスタンスを復元することはできませんので、ご注意ください。

手動更新手順

ECS コンソールにログインします。

左側ナビゲーションメニューから「インスタンス」をクリックします。

「インスタンスリスト」からリージョンを選択します。インスタンス名、インスタンスID、またはインスタンスのステータスでインスタンスを検索することが可能です。

更新したいサブスクリプションECSインスタンスを選択し、アクションの「更新」をクリックしますと、手動更新画面が表示されます。



更新期間を選択し、「注文」ボタンをクリックしますと、支払い画面に入ります。「支払い」をクリックし、手動更新が完了します。

Alibaba Cloud

コンソールヘルプセンターログアウト

概要

インスタンス名:

インスタンスタイプの選択: 1-core, 2GB (汎用タイプ n4, ecs.n4.small)

ネットワーク料金タイプ: データ転送使用率

LAN IP:

データディスク: なし

リージョン: アジア東北 1 (東京)

I/O の最適化: IO 最適化インスタンス

現在の帯域幅: 30Mbps

WAN IP:

OS: CentOS 7.2 64bit

インスタンスの世代: 世代 III

ネットワークタイプ: VPC

現在の ECS の有効期限: 2017-04-19 00:00

更新

更新の長さ

1ヶ月

価格: ￥ 2100.00 JPY

本来の価格: ￥ 2464.00 JPY

お得額: ￥ 364.00 JPY

🏷️ ECS special offer

☒ ECSサービス利用規約に同意する☒ 一般利用規約に同意する

注文

注意：

- ・手動更新ができるのは有効期限が切れたインスタンスのみです。
- ・更新期間は1ヶ月もしくは1年間のみサポートします。

ECS 有効期限の自動更新

自動更新サービスは、サブスクリプションを使用するインスタンスにのみ適用されます。

はじめに

自動更新機能を有効にしている場合、Alibaba Cloudはインスタンスの期限が切れる日付に登録しているクレジットカードに料金を請求します。

ECSインスタンスの購入後からインスタンスが停止される前までに、**サブスクリプション更新**ページで自動更新機能を有効にすることができます。自動更新機能が有効になっている場合：

- 月単位のサブスクリプションインスタンスの有効期限が切れると自動的に一ヶ月で更新されます。
- 年間サブスクリプションインスタンスの有効期限が切れると自動的に一年間で更新されます。

注意：

自動更新機能では、毎月の定期購入と年間契約の切り替えはサポートされていません。インスタンスの利用期間を変更する場合 **手動更新** 機能をご利用ください。

自動更新サービスを有効にすると、

有効期限（T）の7日目、3日目、または1日前にサブスクリプションインスタンスの有効期限が通知されます。

Alibaba Cloud は、有効期限（T）にリンクされたクレジットカードへの使用料を請求します。料金の支払いが失敗した場合、Alibaba Cloud は、支払いが成功するまで、7日目（T + 6）と15日目（T + 14）に再度試みます。3回の支払いがすべて失敗した場合、インスタンスは停止します。

サブスクリプションの支払いが成功した場合、インスタンスは **期限切れ** ステータスになった日から、次の請求サイクルは有効期限から開始されます。

たとえば、月額サブスクリプションのインスタンスが 2016 年 4 月 25 日 00:00:00 に期限切れになっていて、2016 年 5 月 9 日に自動的に更新された場合、この更新の請求サイクルは 2016 年 4 月 25 日 00:00:01 ~ 2016 年 5 月 25 日の 00:00:00 です。

3回の支払いがすべて失敗した場合、インスタンスは有効期限の 15 日後に停止します。また、インスタンスが停止されると、サービスの提供が停止され、ログオンしたり、インスタンスにリモート接続することさえできなくなります。この時点で、**手動更新のみ**選択できます。有効期限の 15 日後にインスタンスが更新されない場合、インスタンスはリリースされ、データは失われます。

自動更新が試行される前に手動でインスタンスを更新すると、インスタンスが更新され、現在の請求サイクルで自動更新が試行されません。インスタンスは次の請求サイクルに入ります。

Alibaba Cloud は、失敗した自動更新の試行ごとに、リンクされたメールアドレスに通知メールを送信します。メールの確認より、更新を忘れることがなく、今後のビジネスへの影響を避けるために必要な処置を取ることができます。

Alibaba Cloudは、有効期限（T）、7日目（T + 6）、または15日目（T + 14）の日付に、08:00:00（UTC + 8）にリンクされたクレジットカードへの購読料を請求します。しかし、Alibaba Cloud は、有効期限が切れたすべての ECS インスタンスで毎日自動更新を実行するため、あなたの手数料は、08:00:00（UTC + 8）以降、18:00:00（UTC + 8）までに課金されることがあります。

自動更新の有効化

自動更新を有効にするには、次の手順を実行します。

[ECS コンソール] にログインします。

ナビゲーションメニューから [Billing Management] をクリックします。

[サブスクリプション更新] を選択します。

「自動更新を有効にする」をクリックして、自動更新のステータスを変更する画面が表示されます。

自動更新サイクルを選択して、[自動更新を有効にする] をクリックします。

自動更新の無効化

インスタンスの自動更新サービスを無効にするには、次の手順を実行します。

[ECS コンソール]にログインします。

ナビゲーションメニューから [Billing Management] をクリックします。

[サブスクリプション更新] を選択します。

自動更新タブにある、対象インスタンスの「自動更新を変更する」をクリックして、自動更新のステータスを変更する画面が表示されます。

自動更新を無効に設定して、「OK」をクリックします。

停止済みインスタンスの非課金化

停止したインスタンスの料金はかかりません（VPC インスタンス）

ECS には、**停止済みインスタンスの非課金化** 機能が導入されました。この機能を有効にすると、インスタンスの起動、表示、停止で従量課金インスタンスを停止後、インスタンスの利用料を支払う必要はありません。また、StopInstance インターフェイスまたはコマンドラインインターフェイス (CLI) を使用してインスタンスを停止した場合も同様です。

対象リソース

停止済みインスタンスの非課金化 機能は従量課金タイプの VPC インスタンスにのみ適用されます。

この機能は、以下のリソースには適用されません。

ローカルディスク所持のインスタンス。対象インスタンスタイプ: d1ne、d1、i2、i1、gn5 と gal。

インスタンス（システムディスクとデータディスクを含む）に接続されたクラウドディスク、Elastic IP（EIP）アドレスは**停止済みインスタンスの非課金化**機能が有効になっている場合、これらのリソースの請求は、インスタンスが停止しても継続されます。請求の詳細については、クラウドディスク料金と課金概要を参照します。

「実行中」の従量課金 VPC タイプインスタンス。ステップ 2. インスタンスの作成または CreateInstance インターフェイスで作成された後に、「停止済み」状態から「実行中」状態に遷移された場合。

支払期限が過ぎて停止したインスタンス。この場合、課金も停止します。コンピューティングリソースとパブリック IP アドレスもリリースされます。期限切れの支払いが清算された後にのみ、インスタンスとその関連リソースを再起動することができます。インスタンスが正常に再起動された後、すべてのリソースの請求が再開されます。

クラシックネットワークの従量課金インスタンス。このようなインスタンスが「停止済み」ステータスに入った後、Alibaba Cloud はインスタンスとその関連リソースを請求します。インスタンスのパブリック IP アドレスとプライベート IP アドレスは、インスタンスの起動後も変更されません。

機能の影響

停止済みインスタンスの非課金化 機能を有効した場合、インスタンスを停止すると、インスタンスに次の影響が与えられます。

CPU と RAM がリリースされるので、次回にインスタンスを起動できないことがあります。もしそのようなことが発生した場合は、しばらく経ってから再度試してみてください。

インスタンスにパブリック IP アドレスが割り当てられている場合は、そのアドレスがリリースされます。インスタンスの起動、表示、停止または StartInstance インターフェイスを使用してインスタンスを起動すると、インスタンスに新しいパブリック IP アドレスが割り当てられます。ただし、プライベート IP アドレスは変更されません。

t5 インスタンスが停止すると、既存の CPU クレジットは有効ですが、それ以上のクレジットは蓄

積されません。開始時に、CPU クレジットは累積し続けます。

次の操作を実行するときは、操作を終了してからインスタンスを停止して起動する必要があります。

- システムディスクの変更 (パブリックイメージ) (システムディスクの交換)
- ディスクをロールバックする (ResetDisk)
- ディスクの再初期化 (ディスクの再配置)
- その他の O&M 操作

前述の操作のいずれかを実行するときに、インスタンスが正常に開始されることを保証するには、次のいずれかの操作を実行します。

- API または CLI を使用している場合は StoppedMode = KeepChargingを設定してください。詳細は StopInstance インタフェース を参照してください。

ネットワーク帯域幅の購入

Alibaba Cloud では、現在、ECS インスタンスのインターネット接続帯域幅に対して、ECS インスタンスの支払いオプションやネットワークタイプに関係なく、後払い支払いオプションが使用されており、実際のトラフィック使用量に基づいて時間単位で料金が徴収されます。ネットワーク帯域幅の価格はリージョンによって異なります。価格の詳細については、「Elastic Cloud Server の価格」を参照してください。

Alibaba Cloud は、イントラネットトラフィックに料金を請求しません。この記事に記載されているすべての課金ルールは、参照目的のみのものです。詳細は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネット帯域幅の種類

次の表に、インターネットの帯域幅タイプと ECS インスタンスに関する関連情報を示します。

インターネット帯域幅の種類	定義	帯域幅制限	帯域幅制限の引き上げ
アウトバウンド帯域幅	ECS インスタンスからのアウトバウンドトラフィック用の帯域幅。たとえば、ECS インスタンスが外部アクセスを提供している場合や、FTP クライアントまたはその他のツールを使用して内部リソースを ECS インスタンスからダウンロードする必要がある場合に使用します。	サブスクリプションインスタンスの場合：最高速度は 200 Mbit/秒です。 従量課金インスタンスの場合：最高速度は 100 Mbit/秒です。	チケットを起票して、帯域幅制限を 200 Mbit/秒に引き上げることができます。

インバウンド帯域幅	ECS インスタンスへのインバウンドトラフィック用の帯域幅。たとえば、ECS インスタンス内部から外部ネットワークのリソースをダウンロードする必要がある場合や、FTP クライアントまたはその他のツールを使用してリソースを ECS インスタンスにアップロードする必要がある場合に使用します。	最高速度は200 Mbit / sです。	制限を引き上げることはできません。
-----------	--	----------------------	-------------------

Alibaba Cloud が料金を請求するのは、アウトバウンドトラフィック使用量に対してのみです。料金は時間単位で計算され、課金単位は JPY/GB です。トラフィック量の突発的な急増による高額請求を回避するために、インスタンスを作成するときにアウトバウンド帯域幅のピーク値を設定することができます。

注意: 同一 LAN 内の ECS インスタンス間のやり取りによって生じるトラフィックは無料です。

インターネット接続帯域幅の購入

インターネットアクセスモードに合わせてさまざまな方法でインターネット接続帯域幅を購入することができます。

各 ECS インスタンスが独自のインターネット IP アドレスを使用してインターネットにアクセスする必要がある場合は、インスタンスを作成するときにインターネット接続帯域幅を購入する必要があります。

購入方法: ECS インスタンスを作成するときに、[ネットワークタイプの選択] セクションで [ネットワーク帯域幅 ピーク] を 0 以外の値に設定します。

ECS インスタンスが VPC ネットワーク上にあり、EIP (Elastic IP アドレス) を使用してインターネットにアクセスする場合は、EIP サービスのみを購入する必要があります。EIP サービスの詳細については、VPC にある EIP アドレスに関連したドキュメントを参照してください。

ECS インスタンスが EIP を使用してインターネットにアクセスする場合は、ECS インスタンスを作成するときに [Network Bandwidth Peak] を 0 Mbit/秒に設定する必要があります。

支払いオプション

インターネット接続帯域幅の料金は、次のいずれかの方法で支払うことができます。

- クレジットカードによる支払い。

- データ転送プランを購入し、プランからトラフィック使用量を引き落とす。データ転送プランの詳細については、一般的なパッケージの利用条件を参照してください。